

個別事業説明書【PR版】

中予地方局



1 「媛かぐや」産地育成事業費(中予)

さとも「媛かぐや」は、良食味で加工特性に優れ、収益性も高いにもかかわらず栽培面積が増えていないことから、栽培体系の構築と加工事業者等と連携した需要創出に取り組むことで、水稻転作高収益モデルを確立し、水の豊富な伊予市・松前町の水田地帯で産地を育成する。

お問い合わせ先
中予地方局農林水産振興部
農業振興課地域農業育成室
(089-909-8762)

事業イメージ

KPI 中予地域の栽培面積
(R5:6a、R6:22a、R7:40a)

現状値 2a(R4.10時点)
目標値 40a(R7年度)



◆栽培時の課題
・規格が揃わない
・種苗が手に入らない



県下栽培面積 25a
生産者10人(うち中予4人)

栽培面積が増えていない

技術開発の進展
(セル育苗技術の開発)

水田転作作物
としても有望!

- ◆媛かぐや
・食味が良好
・加工特性に優れる
・伊予美人より収量、収益性が高い

《栽培体系の構築》実証ほの設置

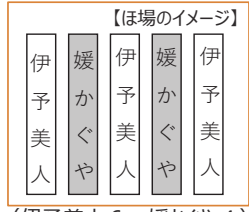
《需要創出》

セル育苗

伊予美人との混植



※規格を揃える



【ほ場のイメージ】
伊予美人 媛かぐや 伊予美人 媛かぐや 伊予美人
(伊予美人6:媛かぐや4)
※灌水、倒伏対策

ニーズの把握

流通適正サイズ
(1.5kg、30cm)

流通適正外品

加工事業者

大規模小売店、給食等
【煮物、揚げ物等】

直売所、イベント等
【スイーツ等】



事業概要

1 媛かぐや産地育成推進会議 139千円

媛かぐやの生産拡大に向けて、栽培体系の構築や新規栽培者の確保、需要創出などの対策強化と、関係者の連携のための会議を開催する(3回)。

【構成員】市町、生産者、JA、全農、農機具メーカー、食品加工事業者、県等

2 栽培体系の構築 607千円

実証ほを設置し、セル育苗の導入や、伊予美人との混植栽培を実証する。

- ①セル育苗技術の導入: 大きさをばらつきを解消するため、セル育苗技術を導入する。
- ②伊予美人との混植栽培の実証: 混植により、芋の大型化(1.5kg、30cm程度)とその安定生産を目指し、マニュアル化(R7年度)する。
- ③種苗供給体制の構築: 種苗生産者の育成のため、セル育苗技術を導入する。

3 需要創出 452千円

加工事業者と連携して、大規模小売店や給食等での消費拡大に向け、ニーズを把握するとともに、直売所やイベント等を通じた「媛かぐや」の認知度向上に向け、新たな特産品を開発する。

◆中予地域の栽培面積 R7:100a

混植
(伊予美人6:媛かぐや4)
うち 媛かぐや 40a
伊予美人 60a

10aあたり所得
R7:500千円以上
※水稻は約21千円

《スキーム》

生産の実証

販売先の拡大

中予地域で
媛かぐや産地育成
(面積、生産者)

県内各地へ
波及

【目指す方向性】 さとも高収益モデルの確立→媛かぐや安定生産→産地化